

## I 事業の概要（地域の実情含む）

モデル地域の各学校において、様々な復興教育に取り組んでいるが、本校では「いわての復興教育」に掲げる3つの教育的価値「いきる」「かかわる」「そなえる」を本校の教育活動に位置づけ、1年次は「いきる」、2年次は「かかわる」、3年次は「そなえる」に関連付け、「生きる力」を育む活動に取り組んだ。そこで、本校が拠点校となり、その成果をモデル地域の学校と共有し、中核教員の資質能力を高め防災意識の啓発に努めた。

## II 取組の概要

### (1) 防災学習「いきる」（教職員数7名、生徒83名）

「いきる」に関連付け、1年次が「産業社会と人間」で、被災地である田野畑村を訪問し、住民の方々に発災時と現在の状況、そして、再生への道りについて教えていただき、「生命の大切さ」や「災害に対応できる知識や技術」について考えることができた。また、三陸鉄道に乗車し、被災地での暮らしや文化を知ることにより、「他者を理解する心」を養うことができた。



田野畑村の方から発災時の状況について学ぶ



三陸鉄道に乗車し、被災地の方々の生活を知る

### (2) 防災学習「かかわる」

（「野田村復興支援交流のつどい」実施（教職員11名、生徒44名）

いわての復興教育スクール〈沿岸〉に指定されている久慈東高校と協同開催

### ア 事前学習

平成23年度から本校で取り組んでいる「復興交流支援活動」についての学習会を実施し、被災地での交流活動に向けて意識を高めた。

### イ 「野田村復興支援交流のつどい」実施内容

総合学科高校である本校の各系列の特長をいかし、学びの成果を総合化するために、主に2年次の各系列の代表で構成された総合学科実行委員がこの活動に取り組んだ。準備については、生徒全員が「総合的な学習の時間」や専門科目の授業で行った。

(ア) 生活・文化系列家庭・芸術選択生徒によるはちみつ石鹸づくり体験、雑穀クッキーや和菓子の試食、たこ焼きパーティー、しおり作りを実施。



(イ) 生活・文化系列農業選択生徒が製作した移動式石窯での「石窯ピザづくり体験」実施。



(ウ) 情報ビジネス系列による「一戸高校農産物販売」実施。



(エ) 介護・福祉系列による「ハンドケアと足浴マッサージ体験」実施。



### (3) 防災学習「そなえる」

(地震、津波、火山、気象、災害時の避難等についての知識や技術の向上を目的とする講演会を実施。教職員数12名、3年次生徒68名)



### (4) 成果発表

ア 岩手県教育委員会主催「いわての復興教育」児童生徒実践発表会にて今年度、本校で取り組んだ「いきる」「かかわる」「そなえる」に関する活動についての成果を報告。



イ モデル地域内の小中学生及び各校中核教員と活動内容を共有するために、今年度取り組んだ「いきる」「かかわる」「そなえる」に関する活動についての成果を本校総合学科全体発表会で報告した。



## Ⅲ 取組の成果と課題

### (1) 成果

#### ア 防災学習「いきる」

「津波の怖さ」、「災害が起こったときの判断力」、「震災を風化させないこと」、「命の大切さ」などについて学ぶことができた。

#### イ 防災学習「かかわる」

(野田村復興交流支援のつどい)

(ア) 各系列の特色を総合的に活かし、本校が一丸となって被災地である野田村での復興交流活動に取り組み、コミュニケーション能力を高めるとともに、他者を理解し、自身を見つめ直すよい機会となった。

(イ) 自ら専門的な知識や技術を身につけ、課題を解決しようとする態度を養うことができた。

(ウ) 支援の心や学びの意欲を高めるとともに、

「人の絆の大切さ」や「地域づくり」、「社会参画」の重要性を学ぶことができた。

#### ウ 防災学習「そなえる」

実際に「防災マップ」を活用し、自分達が住む地域についての災害リスクや防災方法を学ぶことができ、自然災害に対する理解を深めた。

### (2) 生徒の感想

#### ア 防災学習「いきる」

自然災害が起きたときには、冷静に状況を理解し、正しい行動がとれるように知識や技術を高めておくことが大切である。また、普段から地域で避難訓練を実施することや、地域の人とのコミュニケーションを取っておくことが大切であることが分かった。

#### イ 防災学習「かかわる」

各系列が一致団結し、「野田村復興支援交流のつどい」を実施することができた。また、実施後、野田村の方々から心のこもった感謝の手紙をたくさんいただき、役に立つことができた実感した。また、久慈東高校の皆さんとも目標を一つにして開催することができ、多くの方々と「かかわり」を持つことができた。これからも一戸高校では「かかわる」ことを大切にし、本当の復興を目指したい。

#### ウ 防災学習「そなえる」

できるだけ多くの人と災害について話し合う機会を設け、いざというときにみんなが行動できるように知識や技術を共有する必要がある。

### (3) 生徒の変容

事業後の生徒レポートにより、復興教育「いきる」「かかわる」「そなえる」の中で「命の大切さ」や「人とかかわることの重要性」そして、「命の守り方」など、多くのことが身に付いた。

生徒の中には、3年間の復興教育で学んだことがきっかけになり、更に防災に関する知識や技術を高めることができる上級学校への進学を決定させた生徒もいる。将来、一戸町役場の職員となり、地域に貢献するために住民と一丸となって防災意識を高め、多くの大切な命を守っていきたいと考えている。

### (4) 課題

本校では「いわての復興教育」に掲げる3つの教育的価値に基づき復興教育を行っている。その中で、復興教育を推進するためには職員間の連携はもちろん、地域との関わりも大切にしながら、カリキュラムを組み立てる必要がある。